

NEWS RELEASE



2025年3月4日
株式会社みずほ銀行

Altilium Metals Ltd. への出資について ～トランジション領域における資源循環（LiB リサイクル）の取り組み～

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は、このたび、丸紅株式会社（社長：柿木 真澄、以下「丸紅」）の出資先であり、英国にてリチウムイオン電池（以下、「LiB」）リサイクル事業を開発している Altilium Metals Ltd.（以下「Altilium」）との間で株式引受契約を締結し、2.5 百万 US ドルの出資（以下「本出資」）を行いました。なお、本出資は、みずほ銀行の「トランジション出資枠」（※1）によるものです。

2020年に創業された Altilium は、EV（電気自動車）等に使用される LiB をリサイクルし、低炭素かつ持続可能な再生電池材料を製造する実証プラントを操業しています。将来的には、英国において大規模な商用プラントを建設し、LiB の回収から電池材料の製造までを一貫して担うビジネスモデルの確立、経済安全保障の観点から重要性が高まっている希少金属の循環型サプライチェーン構築を目指しています。

〈みずほ〉は、サステナブルな社会・経済の実現に向けて、多岐にわたるテーマの相互連関性を意識して取り組むことが重要だと考えています。国際的に資源不足・制約が顕在化しつつある中、循環型社会への転換は必須であり、気候変動対応や自然資本の保全にも繋がるため、グローバルに重要性が高まっています。こうした状況を踏まえ、〈みずほ〉は、サーキュラーエコノミー（以下「CE」）をサステナブルビジネスの注力領域の一つに位置付け、CE 領域に対しても「トランジション出資枠」を活用した成長支援を継続しています。これまでも 2024 年 9 月に使用済みプラスチックの再資源化に取り組む企業に出資を行っています（※2）。

今般、丸紅とともに先進的な LiB リサイクル技術を持つ Altilium の成長を支援することで LiB の循環型サプライチェーン構築に貢献できると考え、本出資に至りました。本出資を通じて、LiB リサイクルの技術知見・産業知見を更に拡充させ、CE 領域の社会課題の解決に向けた具体的なソリューション開発に挑戦していきます。

※1 トランジション出資枠：

お客さまが実施するシード（技術の種）やアーリーステージ（初期段階）等の開発段階や創業段階にあるトランジション領域に関するプロジェクト等に対し、戦略的、且つ、機動的に投資するための株式出資枠。みずほ銀行産業調査部やみずほリサーチ&テクノロジーズを中心に、長年培ってきた〈みずほ〉のトランジション領域に関する産業知見や環境技術知見を最大限に活用。

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO

※2 2024年9月12日付ニュースリリース

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20240912release_jp.pdf

【Altiliumの概要】

| | |
|-------|-------------------------|
| 会社名 | Altilium Metals Ltd. |
| 本社所在地 | 英国・Plymouth |
| 設立 | 2020年 |
| 代表者 | Kamran Mahdavi |
| 事業内容 | 廃電池のリサイクル、廃電池由来の再生材料の販売 |

以上